

# 和合地区

(山形県朝日町)

- 計画期間 平成24年度～平成28年度
- 面積 303ha
- 交付対象事業費 454.5百万円
- 市人口 7,316人 (地区内人口 677人)

## ポイント

地域住民によって作成された「和合地域づくり計画」の実現のため、地域と行政が一体となったプロジェクトチームを立ち上げ、地域力の向上と自立した地域づくりを目指し取り組みを実施している。

## 地区概要

当地区は、大朝日岳の東縁山麓地域に位置し、特産のりんごをはじめとする果樹・作物の栽培に適した肥沃な土地を有する自然豊かな地域である。衰退しつつある地域コミュニティの形成と自立した地域づくりを目指したまちづくりを行う。

## 目標

大目標：地域の魅力を継承し、みんなが誇りをもち、協力し合えるまちづくりを行う。

目標1：地域の人々が繋がり、支え合えるコミュニティの拡大

目標2：互いに思いやり安全・安心に暮らせる生活環境の向上

目標3：地域の自然や歴史的資源を活かし、地域の魅力を高め、地域間交流の拡大を図る

## 指標

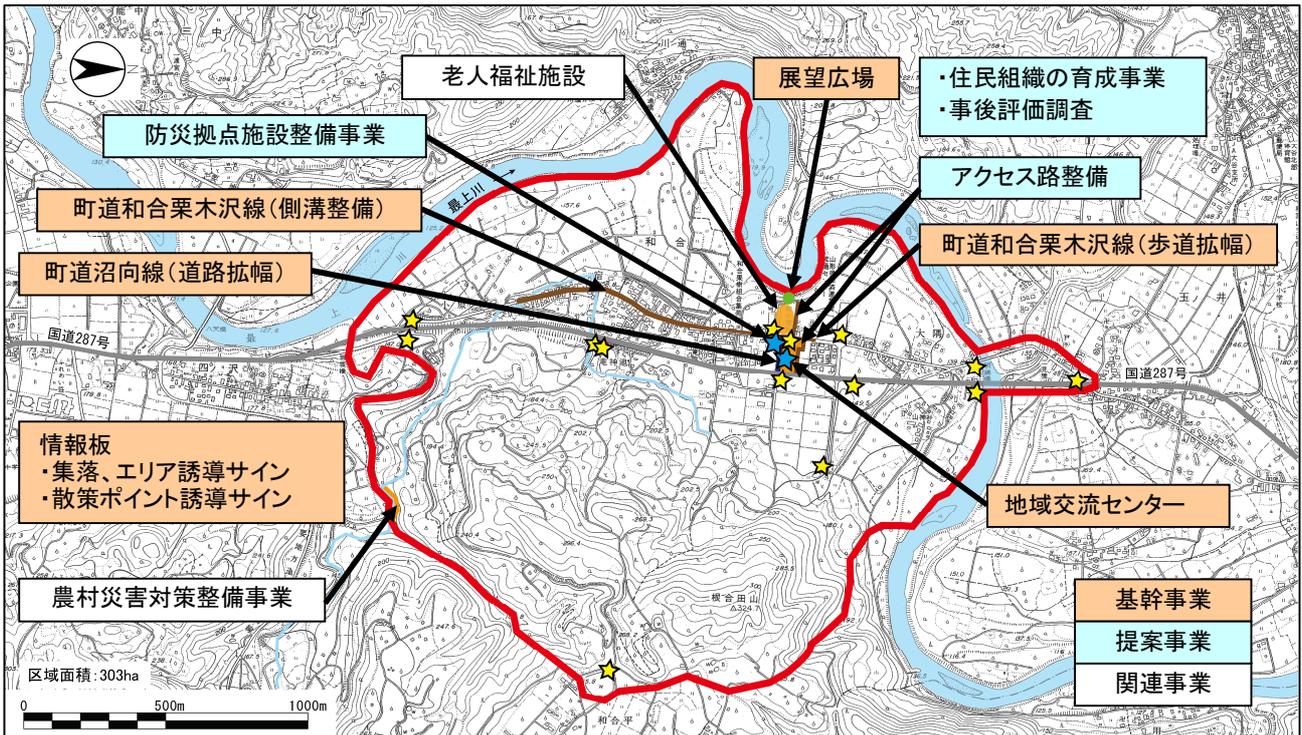
和合地区の地域力の向上と自立した地域づくりの観点から以下の目標指標を設定した。

まちづくり・コミュニティ活動開催数	149回/年 (H23)	→	220回/年 (H28)
住民満足度	40.1% (H24)	→	45.0% (H29)
イベント・地域づくり活動参加者数	1,200人/年 (H23)	→	2,030人/年 (H28)

## 事業内容

基幹事業 (406.0百万円) → 道路 (道路整備、歩道拡幅、側溝整備)、地域生活基盤施設 (広場、情報板整備)、高次都市施設 (地域交流センター整備)

提案事業 (48.5百万円) → 地域創造支援事業 (アクセス路整備、防災拠点施設整備)、事業活用調査 (事後評価調査)、まちづくり活動推進事業 (住民組織の育成事業)



## 地区の現況と課題

地域活動の場となっていた『和合小学校』が閉校となったことで、地域住民たちのコミュニティ形成に影響を与え、地域の繋がりが弱くなっていくことが懸念されている。地域の繋がりは、地域を活性化させるだけでなく、次の世代へと継承されていくことで、地域力を向上させ、自立した地域づくりに繋がることから、地域のコミュニティ活動の環境を整えることが必要である。

## 提案事業の特徴

### ●アクセス路整備

壮大なパノラマ景観を眺望する展望広場へのアクセス路を整備する。

### ●防災拠点施設整備

新たな交流拠点となる地域交流センター付近に耐震性貯水槽やポンプ庫兼防災倉庫等を整備し、地域の防災機能強化を図る。

### ●住民組織の育成事業

地元まちづくり組織を中心とした、事業の企画・実施・評価等の継続したまちづくり活動への支援を行う。

## 計画策定プロセス

### ●地域住民主体のワークショップの開催

地域の目標を持ち、地域の計画を自分たちで作ろうという思いから、平成 17 年に『みんなで考えよう地域の未来「2010 年和合夢未来構想」づくりワークショップ』が開催され、住民が主体となった地域づくりへの第一歩が始まった。翌年平成 18 年には、『和合小学校の未来を考えるワークショップ』を開催し、地域の現状・課題の把握や住民の思いを具体的提案としてまとめ、地域の未来イメージの構築を行っている。

### ●和合地域づくり計画の策定

平成 19 年には、これまでの取組んできたまちづくり活動の結果から将来的な方向性を取りまとめた『和合地域づくり計画』が作成された。その中で、和合地域の未来を創造する「拠点」を考える提案づくりとして「和合地区地域交流センター」の検討が行われている。

## 鈴木浩幸町長のコメント

地域が目標を持ち、地域の計画を自分たちで作ろうという思いから、ワークショップ等を開催し、地域住民によって作成された「和合地域づくり計画」の実現のため、地域と行政が両輪となって進めてきました。

この度の受賞は、長年にわたって力を注いできた地域の皆さんの励みとなるものであり、さらに地域と行政が一体となり、まちづくりを推進していきます。

## 菅井康正和合連合区会長のコメント

地域にあった小学校が閉校になり校舎も解体され絶望のどん底にあっても「地域の拠り所を」と活動を続けてこられた地域の先輩諸氏の願いが今まさに現実のものになろうとしています。地域活性化の核としての「和合地区地域交流センター」が今年度末には完成予定となりました。活動の後を引き継ぐ私たちは新しい施設を有効に活用し、地域住民とともにできることを着実に前に進め、地域活性化の一助となれればと思っています。

## 平雅之和合振興プロジェクト代表のコメント

10 年前ワークショップで地域の宝ざしによって、ワーキングを立ち上げました。和合夢構想に基づいて活動を展開し、地場産業である無袋ふじの PR や地域の環境整備など活動中です。地域発展のため、今後も一層の活動を展開していきます。

### ▼りんごまつりの様子



### ▼ワークショップ開催



### ▼地域交流センター

